

川内原子力発電所温排水影響調査事業

田原義雄, 小湊幸彦, 東剛志, 富安正藏

【目的】

昭和57年度からの継続調査で、川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を調査する。

【方法】

調査の日程、項目は下記のとおりである。調査項目は、水温・塩分、流況、海生生物「海藻類、潮間帯生物(動物)」, 主要魚類及び漁業実態調査で、調査定点、方法とも前年と全て同じである。

平成24年度温排水影響調査一覧

調査項目	調査の内容	平成24年度実施時期		
		春季	夏季	冬季
1 水温・塩分	(1)水平分布		平成24年8月17日	平成25年2月25日
	(2)鉛直分布 (水温のみ)		平成24年8月17日	平成25年2月25日
2 流況	(1)25時間調査		平成24年8月17～18日	平成25年2月25～26日
	(2)15日間調査		平成24年8月10～24日	平成25年2月25～ 3月11日
3 海生生物	(1)海藻類	平成24年5月21～23日		
	(2)潮間帯生物	平成24年5月22～23日		
4 主要魚類 及び 漁業実態	(1)イワシ類(シラス) バッチ網	平成24年1月～12月(周年)		
	(2)マダイ,チダイ	平成24年4月～12月		

【結果】

川内原子力発電所1, 2号機は定期検査中のため、温排水の放水はなかった。また、水温や塩分、流況、周辺海域の海藻類、潮間帯生物(動物)、主要魚類及び漁業実態については、過去の調査結果の変動の範囲内であった。

なお、詳細な結果については、平成24年7月11日(第1回)、平成24年11月27日(第2回)に開催された鹿児島県海域モニタリング技術委員会に提出した調査結果報告書及び『平成24年度温排水影響調査報告書』に記載したとおりである。